



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW42A

デブリーフィング&データ管理システムSkills Album “ふりかえ朗Ⅱ”

取扱説明書

目 次



動画サイト



日本語サイト

https://youtu.be/JU9n_jnVku8

● はじめに・ご注意	P.01
● ご使用の前に	
構成品の確認	P.03
利用できるシミュレータ	P.04
操作方法	P.05
● 準備	
“ふりかえ朗”を起動する	P.06
● 標準機能	
録画する	P.07
デブリーフィングを行う	P.10
追加機能1(モニタ付属製品連携)	
モニタ表示映像を共有する	P.17
● 追加機能2(SCENARIO, Konoha 連携)	
起動手順	P.18
録画する	P.19
デブリーフィングを行う	P.22
● 動画リスト管理	
動画リストを開く	P.24
動画をインポート/エクスポートする	P.25
● 設定	
カメラ・マイク・タブレットの設定	P.26
保存データ量の確認	P.26
● 電子黒板	
電子黒板の画面を表示する	P.27
ふりかえ朗の画面を表示する	P.28
● 後片付け	
“ふりかえ朗”的終了	P.29
“電子黒板”的終了	P.30
● ブラブルシューティング	P.31

はじめに

この度は「デブリーフィング&データ管理システムSkills Album “ふりかえ朗”」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

“ふりかえ朗”はシミュレーション教育におけるデブリーフィングに役立つ動画記録を蓄積し、活用するための学習支援システムです。

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

特 長

- 実習の様子の動画の撮影・行動記録を行い、それらを使用した大画面でのデブリーフィングが可能
- 演習後すぐにグループでのデブリーフィングに
- 撮影した動画や行動記録などは保存可能で、再度デブリーフィングを行うことができます。
- 撮影した動画は外部機器に出力できるため、指導者同士の情報共有や指導方法の検討にもお使い頂けます。

**注意****●装置やモデルに衝撃や圧力を加えないよう
してください。**

モデル本体や機器類などに衝撃を加えないよう
にしてください。破損の原因になります。

●表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化でモデル
本体が変色することがありますが、ご使用には
差し支えはありません。

**●サインペンやボールペンで書き込まないでく
ださい。**

モデル本体に書き込まれると、インクが吸収さ
れ消えなくなります。

●高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿の場所や直射日光のある
場所での保管は避けてください。変形や変色、故
障の原因になります。

**●他のソフトウェアをインストールしないで
ください。**

コンピュータに他のソフトウェアをインストールし
ないでください。誤作動の原因になります。

●コンピュータの終了にはご注意ください。

コンピュータを終了させずに、本体の電源を切ら
れますと故障の原因になります。

**●モニタースタンドの取っ手を持って移動して
ください。**

モニターやテーブルを押しての移動は危険です。
段差のあるところでは必ず複数人で安全を確認の
上移動してください。

**●モデルの汚れは乾いた布でふき取ってくだ
さい。**

動作を停止したのち、水または水で薄めた中性洗
剤をつけて汚れを取り、乾いた布でふき取ってくだ
さい。

ご使用前に、「安全上の注意」を必ずお読みの上で正しくご使用ください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■誤ったご使用により生じる危険や損害の程度を表すマークです。

	警 告	誤った取り扱い方によって、火傷やケガ、火災や感電の可能性が想定される内容を示しています。
	注 意	誤った取り扱い方によって、モデルやパーツの変形、破損が想定される内容を示しています。

■守っていただく事項の種類を表すマークです。

	してはいけない「禁止」の内容です。左図では「分解禁止」を示しています。
	必ず実行して頂く「強制」の内容です。左図では「必ず守る」を示しています。

⚠ 警 告

<p>●付属のアダプタ、電源コードをご使用ください</p> <ul style="list-style-type: none">・付属品以外のアダプタやコードを使用されると、火災や感電の原因となり大変危険です。・付属のACアダプタを他の製品に使用しないでください。  <p>故障や火災の原因になります。</p>	<p>●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、傷つけるなどしないでください</p>  <p>電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p>●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください</p>  <p>やけど・ケガ・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>	<p>●指定の電源(日本国内はC100V)以外では使用しないでください</p>  <p>故障や火災の原因になります。</p>
<p>●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください</p>  <p>感電の原因になります。</p>	<p>●電源プラグは、本体を持ち、確実に抜き差してください</p>  <p>コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで火災や感電の原因になります。</p>
<p>●絶対に分解、改造しないでください</p>  <p>火災・感電・ケガの原因になります。 修理の際は販売店又は(株)京都科学までお問い合わせください。</p>	<p>●火気類を近づけないでください</p>  <p>本体の変形や変色、電気系統のショートなど火災の原因になります。</p>
<p>異常が起きたら</p>  <p>モデル本体や制御ボックス等が熱くなったり、煙が出た時は速やかに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>異臭がするなど異常な状態に気付かれた場合は、速やかに対処いただき、お買い上げの販売店、もしくは(株)京都科学までご連絡ください。</p>	

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- a. 大型モニタ(電子黒板) 1点
- b. タッチペン 2点
- c. イレーサー 1点
- d. リモコン 1点
- e. モニタスタンド 1点
- f. カメラ 2点
- g. 映像収録用PC 1点
- h. バックアップ外付けHDD 1点
- i. オプションマイク 1点
- j. 三脚1点 1点
- k. 無線ルーター 1点
- l. マウス 1点
- m. キーボード 1点

※一部はモニタスタンドにセットされています。

この製品はあらゆるシミュレーション学習時の様子を記録し、行動記録をつけることができます。



■タスク・全身モデル、模擬患者と使う(標準機能)

タスクモデルや全身モデル、模擬患者などを用いてシミュレーション学習を行う場合、“ふりかえ朗”的標準機能として、その様子を“ふりかえ朗”で撮影したり、行動の記録をつけることができます。

■「SCENARIO」「Konoha」と合わせて使う

標準機能に加え、「多職種連携ハイブリッドシミュレータ”SCENARIO”」「周産期全身シミュレータ”Konoha”」を“ふりかえ朗”と連携することで、下記機能をご利用いただけます。(接続方法>P.16)

○「SCENARIO」「Konoha」の心電図モニタ映像を“ふりかえ朗”へ保存する

○「SCENARIO」「Konoha」のタブレットで記録した行動履歴を“ふりかえ朗”へ自動共有する

“ふりかえ朗”に保存されたモニタ映像・行動履歴は、デブリーフィング時、撮影動画と同期した状態で1画面に表示することができ、同時再生による確認が可能です。

■イチローIIAなど、モニタ表示を伴うシミュレータと合わせて使う

上記の標準機能に加え、モニタ表示を伴う製品では“ふりかえ朗”と接続することで、シミュレータのモニタ映像も保存することができます。

“ふりかえ朗”に保存されたモニタ映像は、デブリーフィング時、撮影動画・行動記録と同期した状態で1画面に表示することができ、同時再生による確認が可能です。

※お手持ちのイチローIIA等との連携をご希望の場合はお問い合わせください。

画面の操作

この製品はモニタ画面をタッチすることで操作することができます。

■ 基本の操作

“ふりかえ朗”のモニタは電子黒板を採用しております。
付属の専用タッチペン、もしくは、指で操作することができます。
**圧力で反応が変化することはありませんので、
決してモニタを強く押したり、モニタを叩かないでください。**



■ 「SCENARIO」「Konoha」連動時の操作

“ふりかえ朗”は別売製品「多職種連携ハイブリッドシミュレータ”SCENARIO”」「周産期全身シミュレータ”Konoha”」と連携することでより効率的にご使用いただけます。(連動時の機能 >P4)
「SCENARIO」「Konoha」を使用しての実習では、録画の開始をそれぞれの操作用タブレットより操作することができます。

録画の開始をタブレットから操作できます

デブリーフィング時の操作は大型モニタで行います



ふりかえ朗の起動

“ふりかえ朗”は下記の手順でセットアップしてください。

1. コンセントにプラグを差し込む

“ふりかえ朗”的電源タップのプラグをコンセントに差し込みます。



2. “ふりかえ朗”的電源を付ける

モニタスタンドのテーブルの上に設置されているパソコンの電源ボタンを押し、“ふりかえ朗”を起動します。
自動でソフトウェアが立ち上がるのでそのままお待ちください。



3. カメラ・マイクの接続状況を確認する

録画開始待ち画面が表示されたら、カメラとマイクの接続が正常か確認します。

カメラ：映像のプレビューが画面に表示されているかご確認ください。

マイク：発声時に画面右上の音量ゲージが反応するかご確認ください。
(カメラ・マイクの設定>P.26)
(カメラ・マイクが動作しない場合>P.32)



実習の様子を記録する

実習の様子の録画開始方法と、録画中の画面の説明です。

録画を開始する

録画開始待ち画面の右下の「録画開始」ボタンをタッチすることで録画を開始します。

録画はボタンを押すとすぐにはじまります。実習の準備が整ったことを確認してからボタンをタッチしてください。



(A)映像プレビュー

撮影している映像がリアルタイムで映ります。
2~5台目のカメラ映像がある場合は下部に縮小表示されます。(カメラの設定 >P.25)

(B)録画からの経過時間

(C)録画からの経過時間

ポイントとなるタイミングを記録することができます。(行動の記録 >P.8)

(D)記録したタイミングの数

(E)録画終了ボタン

録画中に学習者の行動を記録する

録画中に、実習の中で学習者の気になる行動があれば、そのタイミングを“ふりかえ朗”に保存することができます。タイミングは何度でも保存でき、デブリーフィング時にタイムラインとして一覧表示することができます。（デブリーフィング画面について >P11）

タイミングを記録する

記録したい行動があれば、画面右下の”タイミングを記録”ボタンをタッチします。
記録されると、「記録しました」という文字が数秒間表示されます。
同一実習中に記録したタイミングの回数はボタン下の表示で知ることができます。



録画の終了とデータ保存

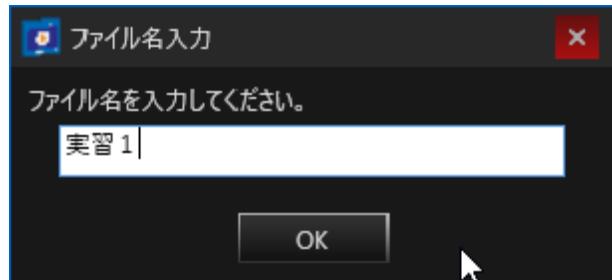
“ふりかえ朗”での録画を終了し、記録したデータを保存します。

1. 録画を終了する

画面右下の「録画停止」ボタンをタッチします。

**2. ファイル名を入力する**

右のようなポップアップが表示されます。
入力欄をタッチすると画面上にキーボードが表示されるので、録画したデータの任意のファイル名を入力し、「OK」をタッチしてください。

**3. 保存の完了**

保存が完了すると、自動的に録画開始前の録画開始待ち画面に戻ります。



標準機能

デブリーフィングを行う (デブリーフィング画面を表示する)

デブリーフィング画面を表示する

1.動画リスト

録画開始待ち画面の右下「動画リスト」ボタンをタッチし、動画リストを開きます。

※動画リストに動画が表示されない場合は、下



2.デブリーフィングする動画を選択する

リスト内からデブリーフィングしたい動画をタッチし

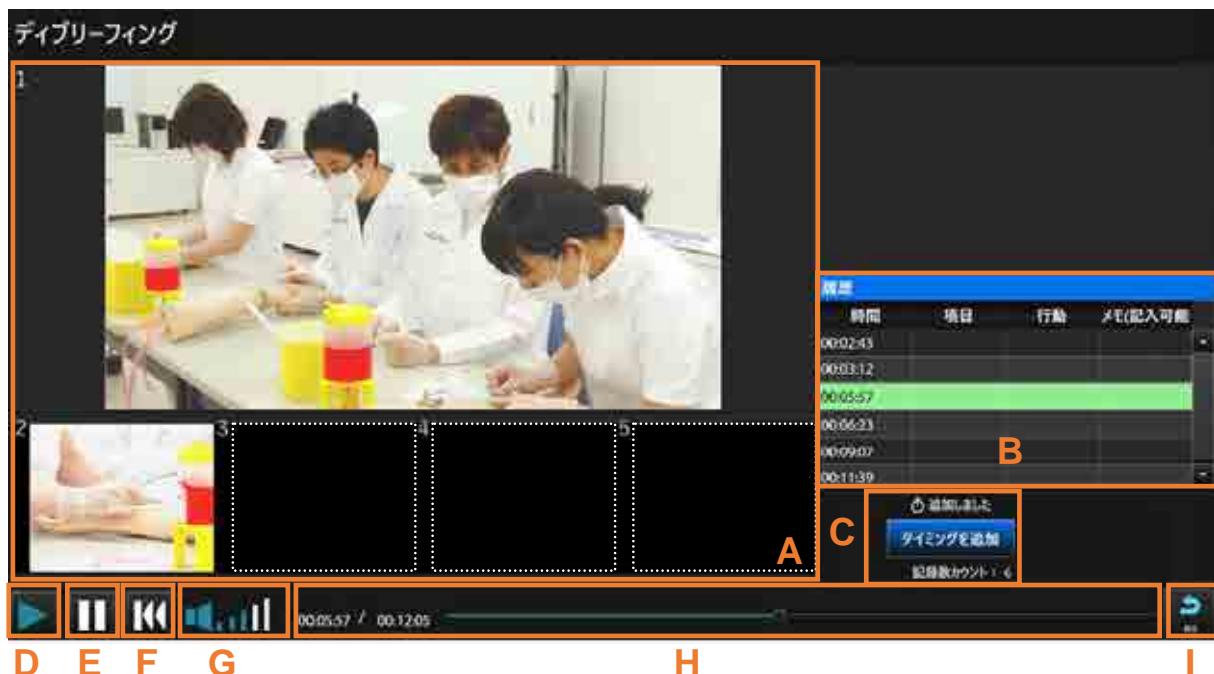


3.デブリーフィングの開始

デブリーフィング画面が表示されたら、画面左下の「▶」ボタン(再生ボタン)をタッチしてください。



デブリーフィング画面



(A)映像再生画面(カメラ別)

- 動画を再生する：
任意の動画を一回タッチします。
- 拡大映像の切り替え：
2~5の枠に表示されている映像のうち拡大したいものをタッチすると1枠のものに入れ替わります。

(B)行動タイムライン

記録したタイミングがタイムライン形式でリスト表示され、映像の再生に合わせて自動でスクロールします。
メモの追加や、記録した任意のタイミングから動画を再生することができます
(メモの追加 >P.12)
(任意のタイミングからの再生 >P.13)

(C)タイミング追加ボタン

デブリーフィング中にポイントとなる行動を映像中に見つけた場合、タイムラインにタイミングを追加することができます。

(D)再生ボタン

(E)一時停止ボタン

(F)最初から再生ボタン

(G)音量調整

タッチすることで調節が可能です。

(H)現在の経過時間/総録画時間

バーの●を動かして動画を任意の位置から再生できます。

(I)録画開始待ち画面へ

ポイント

- 撮影した複数の動画と記録したタイミングは同時再生されるため、多視点からどのタイミングにポイントとなる行動をしたかを把握できます。

タイミングの追加

タイムラインに表示されるタイミング一覧では、ボタンを押した時間のみが表示されています。
デブリーフィング画面ではそれぞれのタイミングにはメモを記入することができるので、行動内容を書き込むことでより詳細に記録することができます。

1. タイムライン上の任意のタイミングを選択する

任意のタイミングのメモ欄を2回タッチします。

順位	時間	項目	行動	メモ(記入可能)
	00:02:43			
	00:03:12			
	00:05:57			
	00:06:23			
	00:09:07			
	00:11:39			

2. メモの入力

画面上にキーボードが立ち上るので、タッチ操作でメモを記入してください。

任意のタイミングから動画を再生する

“ふりかえ朗”では、実習中に記録した任意のタイミングからの動画再生が可能です。

タイムライン上の任意のタイミングをタッチする

タッチしたタイミングの5秒前まで動画がスキップします。

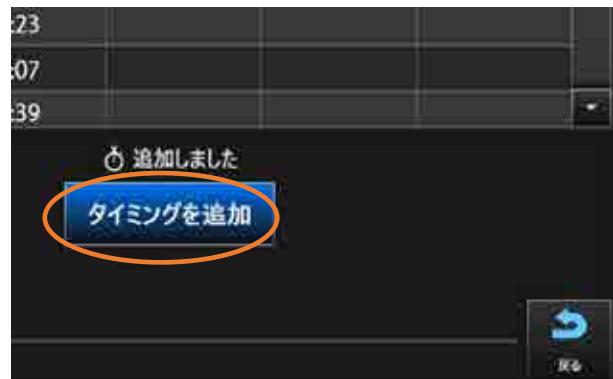


タイミングの追加

デブリーフィング中に新たに記録したいタイミングがある場合、デブリーフィング中にもタイミングを追加することができます。

タイミングを追加する

デブリーフィング画面右下の「タイミングの追加」をタッチします。



追加の確認

タイミングが追加されると、録画時同様、ボタン上に「記録しました」と表示され、記録数カウント表示も1増加します。

また、タイムラインにもタイミングが即時追加されます。



デブリーフィングの終了

「戻る」ボタンをタッチする

デブリーフィングを終了するには、画面右下の「戻る」ボタンをタッチします。
終了後は、録画開始待ち画面に戻ります。



追加機能1 (モニター付属製品連携)

モニタ表示映像を “ふりかえ朗”と共有する

シミュレータとの映像共有

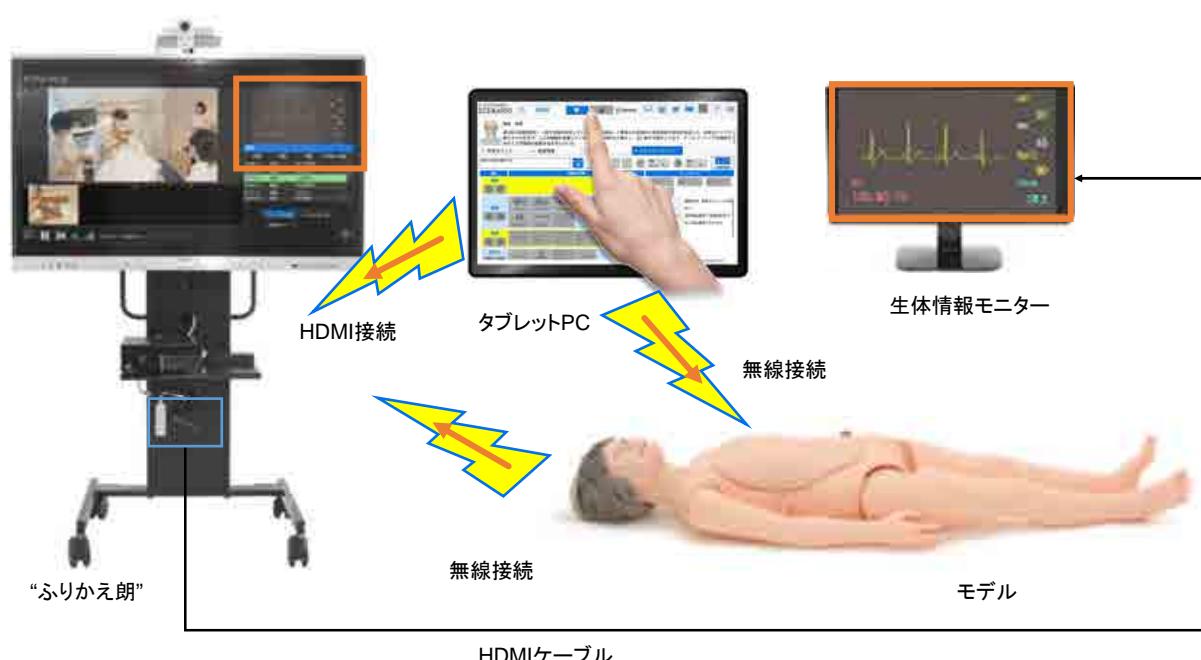
“ふりかえ朗”では、SCENARIO、Konoha のモニタの映像を“ふりかえ朗”側にも表示・保存することができます。



“ふりかえ郎”システムにシミュレータの生体情報を表示させるには、
“ふりかえ郎”システムとシミュレータを接続させる。* 初期設定
を行った後に以下の配線を行います。

- 1)タブレットPCと“ふりかえ郎”システムをHDMI接続する。
- 2)“ふりかえ郎”システムと生体情報モニターをHDMI接続する。

*初期設定につきましては、別途お問い合わせ願います。



追加機能1 (モニター付属製品連携)

モニタ表示映像を “ふりかえ朗”と共有する

■注意■ 下記の作業は必ず“ふりかえ朗”的電源を切った状態で行ってください。

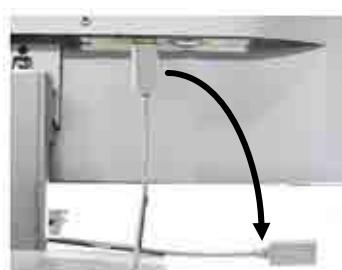
① 使用する部品の確認

- “ふりかえ朗”に付属しているHDMIケーブル(10m)
- シミュレータに付属していた
HDMI用電源ケーブル及びHDMI無線アダプター(右写真)
- “ふりかえ朗”システムのHDMI分配器(下写真)



② タブレットPCと“ふりかえ朗”システムをHDMI接続する。

生体情報モニター背面のHDMI無線アダプターを外して、“ふりかえ朗”システムのHDMI分配器の[入力ポート(INPUT)]に接続します。



生体情報モニターからHDMI無線アダプターを外します。



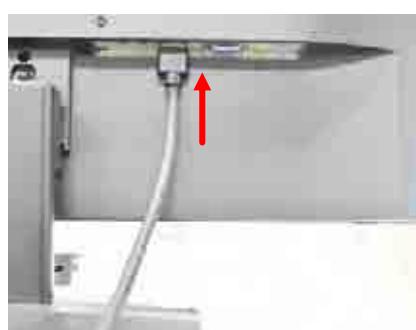
HDMI無線アダプターを“ふりかえ朗”システムのHDMI分配器の
[IN]に繋ぎます。



HDMI用電源ケーブルを差し込みます。

③ “ふりかえ朗”システムと生体情報モニターをHDMI接続する。

生体情報モニターのHDMIポートに“ふりかえ朗”に付属しているHDMIケーブル(10m)を接続します。
ケーブル反対側のコネクターは“ふりかえ朗”システムのHDMI分配器の[出力ポート(OUTPUT2)]に接続します。



生体情報モニターと接続したHDMIケーブル

SCENARIO, Konoha 連携時の起動

“ふりかえ朗”をSCENARIO もしくはKonoha と連携させて使用する場合、下記の順番で起動する必要があります。

**1. SCENARIO/Konoha の
モデル本体の電源をONにする**

モデルが電源に接続されているのを確認し、
モデル腰部横にあるモデル本体電源をONに
します。



**2. SCENARIO/Konoha の
タブレットの電源をONにする**

SCENARIO/Konoha の操作タブレットの電源
をON にし、シミュレータがたちあがるまで1分
程度待ちます。

3. “ふりかえ朗”タブレットの電源をONにする

“ふりかえ朗”が電源に接続されていることを確
認し、“ふりかえ朗”的電源を ON にします。
（“ふりかえ朗”を起動する >>P.6）



録画の開始と終了

“ふりかえ朗”はシミュレータ(SCENARIO, Konoha)と連携している場合、録画の開始をシミュレータのタブレットから無線操作することができます。

■注意■ 録画を開始する前に必ず、“ふりかえ朗”を録画開始待ち画面にしてください。

1. シミュレータ側の操作

シミュレータのタブレットでシミュレーションを行うシナリオを選択し、シナリオシミュレーション開始ボタン隣の「Record」チェックボックスをタッチしてチェックが入っていることを確認します。

※デフォルトでチェックが入っていますが、確認してから次の操作に進んでください。



2. “ふりかえ朗”に反映されているか確認する

録画したい画面(Scenario のタブレット画面、もしくは専用生体情報モニタ画面)が、“ふりかえ朗”的右上部分にプレビューとして表示されているか確認します。

“ふりかえ朗”にプレビュー表示されないときは

1) タブレットのモニタ表示設定ボタンをタッチします。

2) タブレット操作画面を録画したい場合は「複製」、専用生体情報モニタ画面を録画したい場合は「拡張」を選択します。



→「拡張」を選択しても“ふりかえ朗”に生体モニタが表示されない方のみ3)へ

3)タブレットの「患者情報」ボタンをタッチします



4)虫メガネボタンをタッチします。
これで、"ふりかえ朗"に生体モニタが表示されます。



3. シミュレーションを開始する

タブレットのシナリオシミュレーションボタンをタッチすると、シミュレータが動作すると同時に“ふりかえ朗”も録画を開始します。

4. シミュレーションを終了する

従来同様、終了ボタンをタッチしシミュレーションを終了します。

■すぐデブリーフィングする場合：

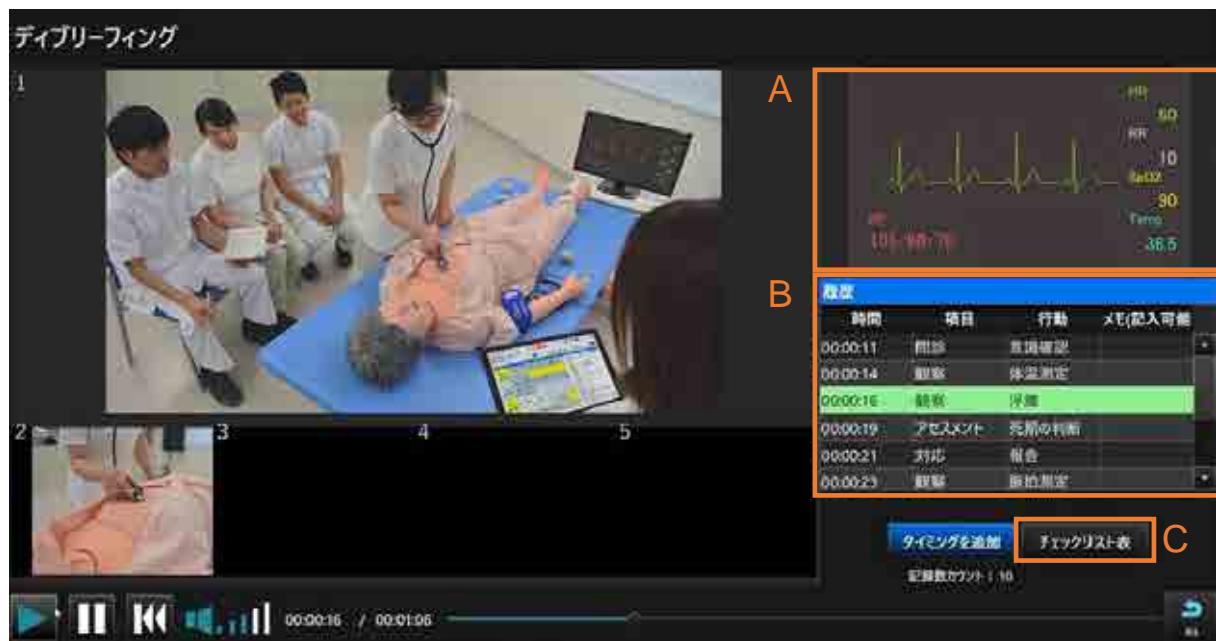
「大型モニタでデブリーフィングを開始します」と表示されたら「はい」をタッチします

■後からデブリーフィングする場合：

「大型モニタでデブリーフィングを開始します」と表示されたら「いいえ」をタッチします

デブリーフィング画面

SCENARIO, Konoha と連携している場合のデブリーフィング画面です。
(後からデブリーフィングを開始する場合 >P.10)



下記以外の部分は標準機能でデブリーフィングを行う場合と同じです。(>P.11 参照)

A. 専用生体情報モニタ画面

シミュレータ付属の専用生体モニターの映像を再生します。
撮影された動画と同期して再生することができるため、学習者の行動をバイタルの変化と合わせ観察できます。

B. タイムライン

SCENARIO, Konoha の機能で記録した行動記録が“ふりかえ郎”にも記録されます。
上図のように、標準機能とは異なり、すでにどういった行動がとられたかが記載してあります。
メモ機能も標準機能同様に使用可能です。

C. チェックリスト表

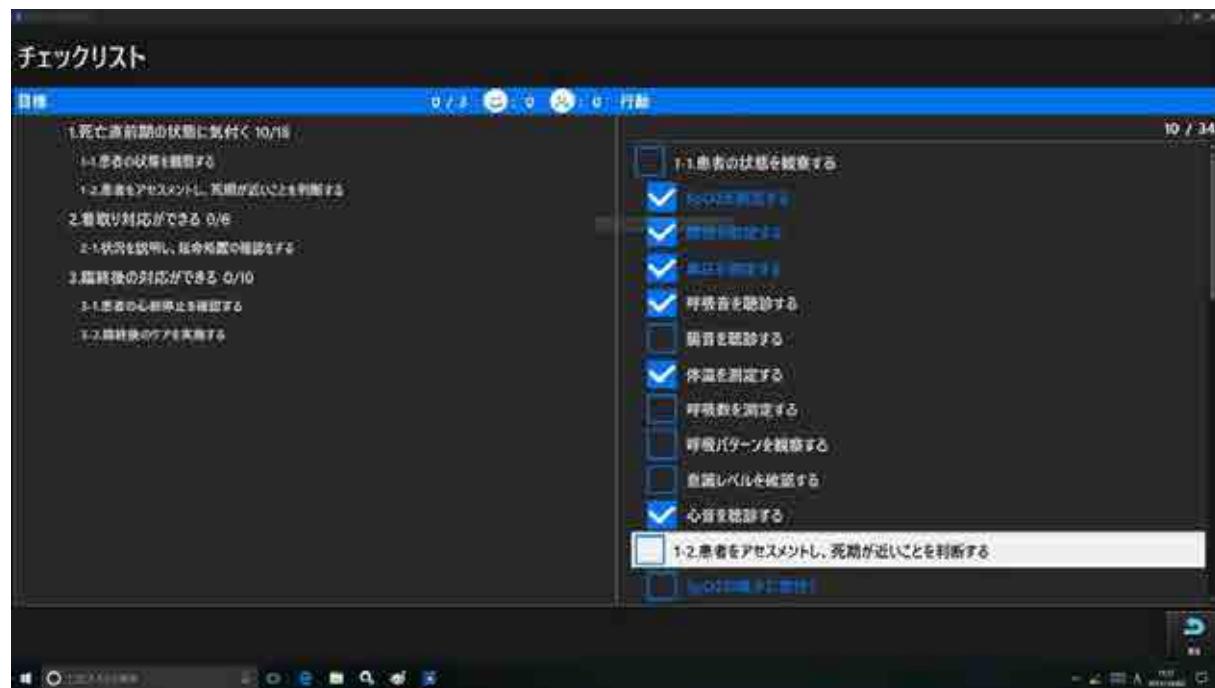
SCENARIO, Konoha のデブリーフィング機能である学習目標の到達度チェックリストを“ふりかえ郎”で開くことができます。また、チェックリストの編集も“ふりかえ郎”で行うことができます。
(チェックリストの確認・編集 >P22)

チェックリストの確認

SCENARIO/Konoha のデブリーフィング機能の1つであるチェックリストについて、“ふりかえ朗”で確認・編集することができます。“ふりかえ朗”で編集されたチェックリストは、SCENARIO/Konoha にも共有され、同じ情報が保存されます。

チェックリストを開く

デブリーフィング画面の右下にある「チェックリスト表」をタッチします。
下のようなチェックリストが全画面で表示され、実習時にクリアした項目を確認することができます。
また、チェックボックスをタッチすることで、チェックを付けたり外したりすることができます。重要な行動は青字で示されています。



※チェックリストの操作については、SCENARIO/Konoha を単独で使用する場合と全く同じです。

デブリーフィングの終了

SCENARIO/Konoha を使用した“ふりかえ朗”でのデブリーフィングの終了は、SCENARIO/Konoha のタブレットから操作します。

1. タブレット画面からの操作

タブレット画面の右上に表示されている「デブリーフィング終了」をタッチします。



2. 名前をつけて保存する

保存ポップアップが表示されたら、任意の名前を記入して「保存」ボタンをタッチしてください。
シミュレータ側と“ふりかえ朗”側の両方に保存されます。

※このとき、何も記入しないで「OK」をタッチすると、「日付 + 時間」がファイル名として自動的に保存されます。

動画リストの見方

動画リストを表示する

録画開始待ち画面右下の「動画リスト」ボタンをタッチします。



動画リスト画面説明

A: フィルタリング条件

ファイル名	日付	シナリオ名	動画時間	サムネイル
XX実習	2017/07/26	救急症状を訴える患者への対応	00:10:17	
XX実習 グループA	2017/07/25	アナフィラキシーショック症状への初期対応	00:05:49	
XX実習 グループB	2017/07/25	アナフィラキシーショック症状への初期対応	00:06:11	
XX実習 グループC	2017/07/25	アナフィラキシーショック症状への初期対応	00:06:39	
XX実習	2017/07/11	人工呼吸器下のアラーム対応1	00:04:03	
XX実習	2017/06/29	低下障害をもつ患者への対応	00:11:29	

B: 検索条件

C: 詳細表示

D: 削除

E: エクスポート

F: インポート

G: 録画開始待ち画面へ

(A) 保存動画一覧

新しい順に今まで記録した動画が表示されています。

(B) 動画検索

録画した日時を入力し、検索ボタンをタッチしてください。

(C) デブリーフィング画面へ

(D) 動画の削除

(E) エクスポート

USB等の外部機器にエクスポートします。

(F) インポート

USB等の外部機器にインポートします。

(G) 録画開始待ち画面へ

動画のインポートとエクスポート

記録されたデータは他の“ふりかえ朗”へ移行することができ、複数の“ふりかえ朗”でデブリーフィングすることができます。
(※別途USBをご準備ください。)

USBを接続する

USBをパソコンのUSB端子に差し込みます。

※インポートの場合は、他の“ふりかえ朗”からエクスポートしたデータを入れたUSBを用意してください。



■ インポートする場合

- 1) 動画リスト右の「インポート」をタッチ
- 2) 先ほど接続したUSBを選択
- 3) インポートしたい動画データを選択
- 4) 動画のインポート開始

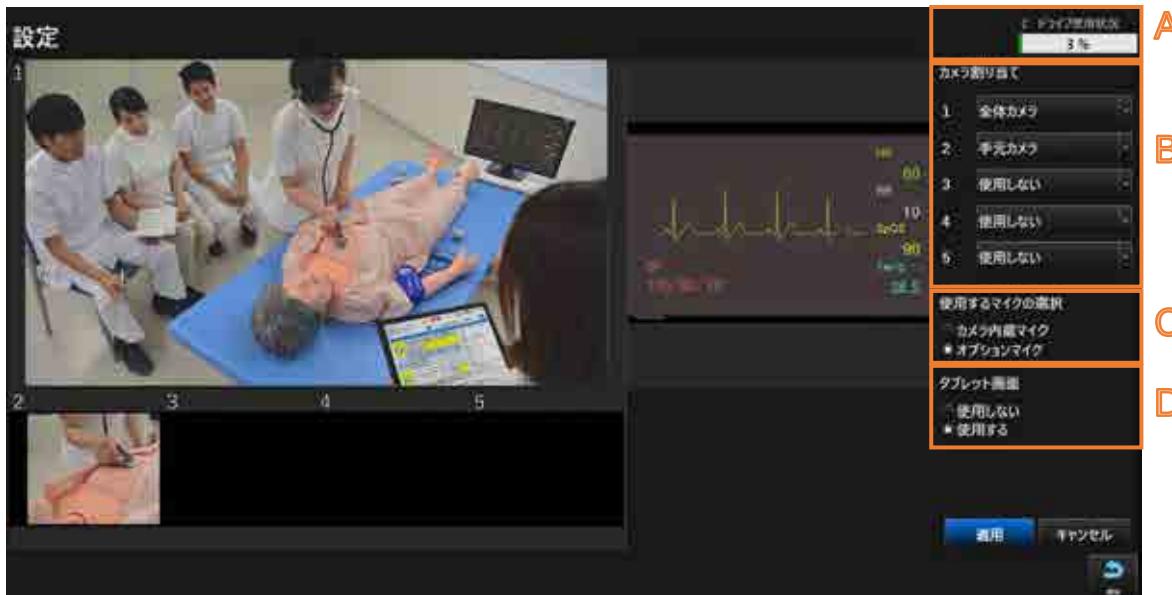


■ エクスポートする場合

- 1) エクスポートしたい動画を選択
- 2) 動画リスト右の「エクスポート」をタッチ
- 3) エクスポート先として接続したUSBを選択
- 4) 「動画ファイルをWMV変換しますか？」というメッセージが出るので、
 - お手持ちのパソコンで見る場合
→「はい」を選択
 - 他の“ふりかえ朗”にインポートする場合
→「いいえ」を選択
- 5) 動画のエクスポート開始



機器の設定とデータ量の確認



(A) 保存データ量の確認

設定画面右上に表示されている「C ドライブ使用状況」で、保存データ量の確認ができます。
約 1000 回以上のシミュレーションを記録(※)できますが、万が一容量が不足した場合は、市販の外付けハードディスクを接続することで保存容量を増やすことができます。
(保存容量が不足した場合>P.33)

※1 回 10 分の場合

(B) カメラの設定

最大5台まで、カメラの接続が可能です。
接続しているカメラの映像は、録画開始待ち画面や録画画面で表示されている1~5の枠に割り当てる
ことができます。
※2~5の映像は画面上では縮小表示されていますが、保存される映像は高画質のものです。
※カメラは購入時では付属の2台のみ接続設定がされています。3台目以降のカメラを接続したい場合はお問い合わせください。

(C) マイクの設定

使用するマイクを選択することができます。
各カメラに内蔵されているマイク、もしくはオプションの可動式マイクが選択できます。

(D) タブレット画面の設定

SCENARIO や Konoha、モニタのあるシミュレータを使用する際に、モニタを共有するか選択できます。

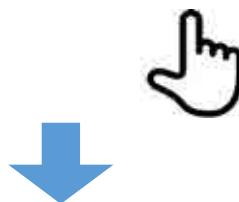
“電子黒板のソフト画面”に移動

1. 電子黒板のパネル右下の“ホーム”ボタンを押してください。



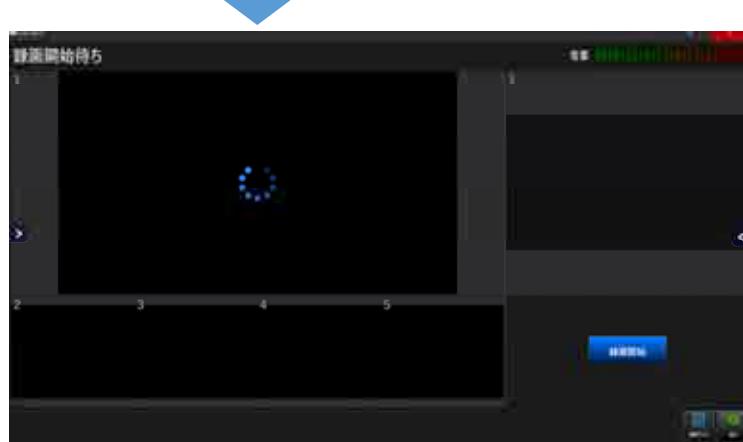
“ふりかえ朗のソフト画面”に移動

1. 電子黒板のパネル右下の“入力ソース選択”ボタンを押してください。



入力ソースの設定のHDMI4
選択してください。

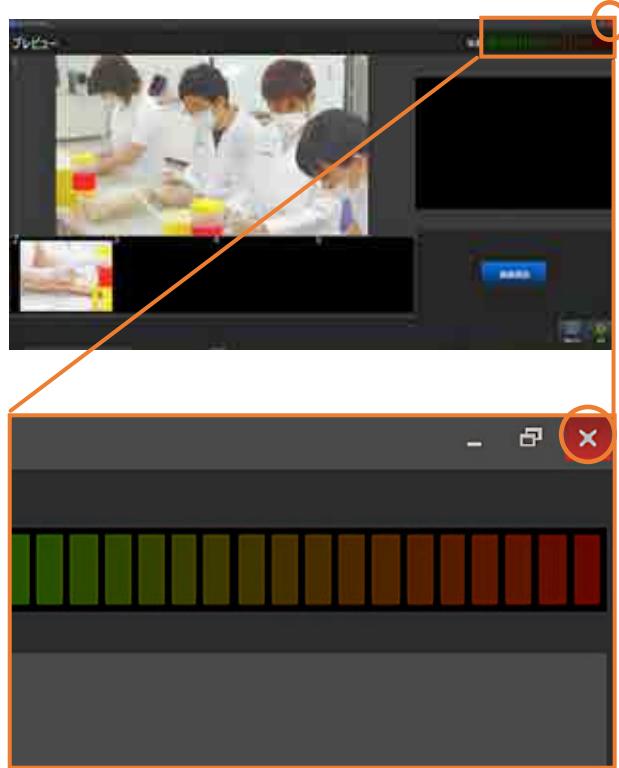
ふりかえ朗の画面に遷移します。



“ふりかえ朗”的電源を切る

1.画面上の「×」をタッチする

タッチすると“ふりかえ朗”を終了する旨のポップアップが表示されます。
「OK」をタッチすると、ソフトが終了し、自動的に電源がOFFになります。



“電子黒板”的電源を切る

1.電子黒板のパネル右下の電源ボタンを長押しします。

もしくは、リモコンの電源ボタンを長押しします。



電源ボタンを長押しすると、シャットダウンを確認する
ポップアップが表示されます。
“OK”を押下して終了してください。



SCENARIO・Konoha と“ふりかえ朗”の接続が途切れている場合、シミュレータの操作タブレットに右図のようなポップアップが表示されます。



■ “ふりかえ朗”での録画なしでシミュレーションを行う場合

上記のポップアップの「はい」のボタンをタッチすることで、“ふりかえ朗”を使用せずにシミュレーションを開始することができます。

■ “ふりかえ朗”との再接続を行う場合

下記を確認し、再接続されるかをお試しください。

1. “ふりかえ朗”の電源がついているか確認してください。(電源をつける >P.6)
2. “ふりかえ朗”を再起動します。（“ふりかえ朗”を終了する >P.29）

上記でも解決しない場合は、(株)京都科学までお問い合わせください。

■ カメラが動作していない

“ふりかえ朗”のカメラが動作していない場合は、以下のような状態になります。

- “ふりかえ朗”起動時から動作していない場合：
映像枠に待機中を示す丸いマークが表示されます。
- “ふりかえ朗”使用途中にカメラとの接続が切れた場合：
接続が切断されたカメラの映像枠の数字が赤く表示されます。

【対処法】

1. カメラに接続されているコード類を一度抜き、再度差し直します。
2. しっかり接続されていることを確認し、約1分お待ちください。
3. カメラが動作しているか再度確認してください。

上記でもカメラが復旧しない場合は、(株)京都科学までお問い合わせください。

■ マイクが動作していない

録画開始待ち画面右上の音量バーが動いていない場合、“ふりかえ朗”的マイクが動作していない可能性があります。

【対処法】

1. マイクに接続されているコード類を一度抜き、もう一度差し直します。
2. “ふりかえ朗”に「どのデバイスをプラグインしましたか？」というポップアップが出ます。
そのまま「OK」をタッチします。
3. マイクが動作しているか再度確認してください。

上記でも解決しない場合は、(株)京都科学までお問い合わせください。

“ふりかえ朗”の映像記録用 PC の保存容量が、残量 20%以下になると、ソフト起動時に右図のようなポップアップが表示されます。

状況に応じて、保存先を選択してください。



■ 新しい記録用ハードディスクを接続する(推奨)

外付けハードディスクをご用意いただき、“ふりかえ朗”に接続する方法です。

1. 用意した外付けハードディスクを右のように“ふりかえ朗”的USB接続口に差し込みます。
2. データ保存先の選択肢に外付けハードディスクが追加されるので、タッチして選択してください。
3. “ふりかえ朗”を起動します。



※保存先を外付けハードディスクにした場合、動画リスト画面では、“ふりかえ朗”的映像記録用PCと外付けハードディスクの両方の動画がまとめて表示されます。

■引き続き“ふりかえ朗”映像記録用PCに保存する (保存可能な残容量が十分あると判断できる場合のみ)

ポップアップの中から「OS(C:)」を選択してください。引き続き、“ふりかえ朗”映像記録用PCに保存が可能です。



http://www.kyotokagaku.com e-mail: rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地

TEL : 075-605-2510 (直通)

FAX : 075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号

NREG本郷三丁目ビル2階

TEL : 03-3817-8071 (直通)

FAX : 03-3817-8075